

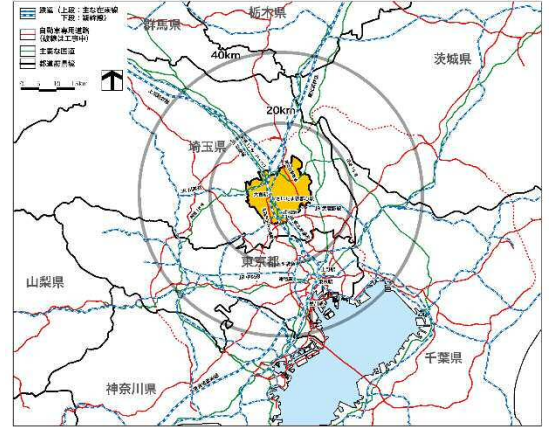
【地域計画に書き出す項目】

第1章 さいたま市の概要

1 自然的・地理的環境

(1) 位置と面積

- ・埼玉県の南東部に位置する、県庁所在地
- ・市域は、東西 19.6km、南北 19.3 km、面積は 217.49 km²
- ・東は春日部市・越谷市、西は川越市・富士見市・志木市・朝霞市、南は川口市・蕨市・戸田市、北は上尾市・蓮田市・白岡市に接す。
- ・東京都心から 20～40 km圏に位置。



『さいたま市都市計画マスタープラン』より抜粋

(2) 地形・地質

- ・洪積台地と沖積低地の二段構成。
(大宮台地と低地)
- ・荒川、鴨川、綾瀬川、元荒川による自然堤防が発達



『さいたま市緑の基本計画』改定版より抜粋

(3) 気候

- ・年平均最高気温は平均値（2000～2016年の17年間）で20.0℃、年平均気温は10.9℃。年平均降水量の平均値は1359.8mm。大雨、台風等による気象被害が生じることもあるが、四季の変化に富み、自然豊かな地として、概ね住みやすい。

(4) 生態系

- ・植物 サクラソウ、クマガイソウ、ハンノキ、ケヤキ
- ・哺乳類 タヌキ、イタチ、ノウサギ、カヤネズミ
- ・爬虫類 アオダイショウ、ヤマカガシ、ニホンカナヘビ、シマヘビ
- ・両生類 アマガエル、ニホンヒキガエル
- ・昆虫類 ホタル、ミドリシジミ、クワガタ、カブトムシ、セミ

- ・鳥類 サギ類、猛禽類、カワセミ、シラコバト、アオバズク
- ・魚類 ウナギ、コイ、ドジョウ、メダカ

2 社会的状況

(1) 市域の変遷

- ・平成13年5月に旧浦和・大宮・与野の3市合併により誕生し、平成15年4月1日には全国で13番目の政令指定都市へと移行。
- ・地方自治法に基づき9区、西区（旧大宮市西部）、北区（旧大宮市北部）、大宮区（旧大宮市南部）、見沼区（旧大宮市東部）、中央区（旧与野市）、桜区（旧浦和市西部）、浦和区（旧浦和市北部）、南区（旧浦和市南部）、緑区（旧浦和市東部）を設置。
- ・平成17年4月1日旧岩槻市と合併し、岩槻区を設置。10区となり現在に至る。

(2) 人口と世帯

- ・令和3年10月1日現在1,331,281人、世帯数621,338世帯
- ・人口密度（人／km²） 6122.8人
- ・令和2年国勢調査による10月1日現在のさいたま市の人口は132万4,591人で、平成27年国勢調査（以下「前回調査」という。）と比べて6万612人増加。平成27年～令和2年の人口増減率は4.8%。平成22年～27年の3.4%から上昇。
- ・国立社会保障・人口問題研究所が、平成27年国勢調査の人口等を基に推計した値によると、令和12年頃をピークに、その後減少に転じる見通し。

(3) 交通

- ・鉄道14路線33駅を抱える。中でも東北・上越新幹線をはじめ、JR・私鉄各線が集結する大宮駅は、北関東の交通の要衝。
- ・国道16号や国道17号新大宮バイパス、国道122号、東京外郭環状道路、首都高高速道路、東北自動車道などの幹線道路網が充実。

(4) 産業

- ・平成27年国勢調査によると、15歳以上の就業者総数611,916人のうち、産業別の就業割合は、第1次産業が0.8%、第2次産業が20.2%、第3次産業が79.0%。

【工業】令和元年（2019）の工業統計調査によると、本市の工業事業者数は869事業所、従業員は27,098人、製造出荷額等は8,896億円。

【商業】平成28年（2016）の経済センサスー活動調査によると、事業所数は8,125事業所、従業者数が92,141人、年間商品販売額は5兆2,181億円。

【農業】平成30年（2018）市町村別農業算出額（推計）によると、農業算出総額は93億円。

大規模な緑地空間である見沼田圃や、荒川、綾瀬川、元荒川流域に広がる豊かな水田地帯を中心に優良農地が確保され、県内有数の農地面積を誇っている。また、首都圏という大消費地に立地していることから、野菜や花卉の施設栽培など集約的な農業経営が行われているほか、米、種苗・植木などの生産も活発に行われている。

(5) 観光

サクラソウ、氷川神社、鉄道博物館、見沼通船堀、盆栽、人形

(6) 土地利用

- ・都市的土地利用が約 15,066ha (69.3%)、自然的土地利用が約 6,683ha (30.7%)
- ・都市的土地利用の主なものは住宅用地で 4 割を占める。
- ・自然的土地利用の主なものは田・畑で 9 割を占める。

(7) 景観

- ・中央部の台地、西部の荒川沿いに広がる平坦地、東部の綾瀬川、元荒川に広がる平坦地。全体に高低差はなく標高は 3~20m。
- ・台地上には屋敷林や雑木林、鎮守の杜。荒川流域にはハンノキ。見沼周辺は斜面林が広がる。現在、台地上は住宅地となっている。

3 歴史的背景

(1) 旧石器時代

- ・台地の縁を中心に 117 遺跡で生活痕が確認できる。

(2) 縄文時代

- ・縄文海進、前期貝塚。
- ・後期小海進時、真福寺貝塚。
- ・大型住居（大古里遺跡）、盛土遺構（馬場小室山遺跡、真福寺貝塚）。
- ・見沼の西縁に連なる縄文の遺跡群。
- ・台地から低地の微高地に。水辺の活動域と泥炭層遺跡。
- ・丸木船 20 艘出土
- ・泥炭層遺跡、漆（真福寺貝塚、南鴻沼遺跡他）

(3) 弥生時代

- ・稲作文化
- ・環濠集落、方形周溝墓
- ・鉄器、ガラス玉
- ・舌状台地上に環濠集落が十数カ所、自然堤防上にも遺跡あり。

(4) 古墳

- ・荒川、鴨川、綾瀬川、元荒川流域に古墳が分布。
- ・白鍬塚山古墳・塚山古墳は 4 世紀後半から 5 世紀代か。それ以外は 6 世紀から 7 世紀の築造。
- ・朝顔形埴輪、形象埴輪、太刀出土。

(5) 古代

- ・武蔵国の足立郡と埼玉郡。足立郡は郡家郷、殖田郷、大里郷、埼玉郡は大田郷、草原郷
- ・下総国の葛飾郡。
- ・古代寺院（慈恩寺、吉祥寺、清泰寺、延命寺、東泉寺、慈眼寺、玉蔵院、林光寺、玉林院、満蔵寺）、瓦（大久保領家）、螺髪（宿）、瓦塔（木崎、府内三丁目）
- ・荒川沿いの古仏
- ・氷川神社、調神社、久伊豆神社、足立神社
- ・条里と牧、鴨川流域の古代官衙遺跡

(6) 中世

- ・中世の岩槻周辺武蔵・下総両国の国境地帯。
- ・元荒川右岸は武蔵国 国衙領の埼玉郡、元荒川左岸 古隅田川以北は武蔵国太田荘、古隅田川以南は下総国下河辺荘
- ・高埴郷、大窪郷、与野郷、佐々目郷、芝郷
- ・武蔵武士
- ・鎌倉街道
- ・鶴岡八幡宮と佐々目郷
- ・観応の擾乱と羽根倉の合戦
- ・岩槻城、大構
- ・後北条氏の進出・滅亡
- ・板石塔婆

(7) 近世

- ・岩槻藩
- ・旗本支配・代官支配
- ・街道整備（中山道、日光御成道、赤山街道、中山道脇往還（甲州・奥州道））
- ・荒川の瀬替え
- ・新田開発、水運
- ・紀州鷹場
- ・庚申信仰と庚申塔、富士講、札所、円空
- ・藩校、寺子屋、私塾、蘭学

(8) 近代

- ・廃藩置県、県庁移転
- ・鉄道
- ・教育・文化
- ・産業
- ・震災
- ・戦争

(9) 現代

- ・戦後の復興
- ・鉄道網の発達
- ・市町村合併

4 文化的環境

(1) 伝統産業

- ・岩槻の人形
- ・浦和のうなぎ
- ・大宮の盆栽
- ・赤山渋
- ・岩槻木綿
- ・安行植木

(2) 年中行事

- ・正月 元旦、七草、初薬師、蔵開き、小正月、初観音、えびす講、初地蔵、初不動
- ・春 節分、初午、八日節句、桃の節句、春祈祷、彼岸、灌仏会、十日念仏、春季例祭
- ・夏 端午の節句、夏越祓え、初山、七夕、祇園祭、盂蘭盆会、施餓鬼、地蔵盆
- ・秋 菊の節句、彼岸、秋季例大祭、えびす講、七五三
- ・師走 太子講、酉の市
- ・現在 大宮薪能、各区区民まつり、年末のイルミネーション

(3) 食文化

- ・朝饅頭昼うどん、うなぎ（川魚）、ねぎ、ヤツガシラ、小松菜、慈姑、ヤマイモ
- ・ぶどう、梨、ケーキ、パスタ、ヨーロッパ野菜

(4) 芸術

- ・俳諧、短歌
- ・浦和画家
- ・盆栽村
- ・北沢楽天（漫画）
- ・街中に点在する彫刻
- ・博物館施設が多い

(5) 郷土ゆかりの人物

- ・歴史的人物 円仁、武蔵武芝、源義家（八幡太郎）、源義光（新羅三郎）、北条氏綱、豊臣秀吉、徳川家康、徳川吉宗
- ・中世 足立遠元、高鼻和氏、野田氏、麻弥屋氏、佐々目氏、高鼻氏、春日氏、渋江氏、箕輪氏、金重氏、柏崎氏、須久毛氏
- ・岩槻城 太田道灌、成田自耕斎正等
- ・岩槻城主 渋江大和守楽応、渋江右衛門大夫、太田永蔵、太田資頼、渋江三

- 郎、太田左京亮全鏡（資頭）、太田資正、太田氏資、太田氏房
- 高力清長、高力忠房、青山忠俊、阿部正次、阿部重次、阿部定高、
 - 阿部正春、阿部正邦、板倉重種、戸田忠昌、松平忠周、小笠原長
 - 重、小笠原長熙、永井直敬、永井尚平、永井直陳、大岡忠光、大
 - 岡忠喜、大岡忠要、大岡忠烈、大岡忠正、
 - 大岡忠固、大岡忠怒、大岡忠貫
- 青木高頼、小栗忠政、山内一唯、春日景定、初鹿野氏、西尾氏
- 伊奈忠治、中村吉照、
- 印融、性尊、齋藝、月江正文、大雲文龍、清巖、徳本、西念、
 - 無相、鶉飼徹定
- 伊奈忠治、井澤弥惣兵衛為永、行者小平次、齋藤祐美
- 左甚五郎、嶋村俊表、円空、中野四郎
- 福原霞外、倉田弟次郎、跡見泰、瑛久、奥瀬英三、高田誠、
 - 田中保、寺内萬治郎、関根伸夫、加藤勝重、渡辺武夫、
 - 小松崎邦夫、齋藤三郎、須田剋太、中野蒼穹、福宿光雄
- 内藤四郎、増田三男
- 神保光太郎、立原道造
- 平野萬里、大野誠夫、鈴木幸輔、大西民子
- 鈴木莊丹、長谷川かな女
- 長沼依山、石井桃子、太宰治、森鷗外、金田一晴彦、澁澤龍彦、
- 児玉南柯、会田俊盈、小泉蘭齋、臼木栄信、細木志郎
- 北沢楽天、西沢曠野、武井武、山田いち、見性院、白井助七、
 - 佐藤信淵、高野長英、高野隆仙、武笠三、清浦奎吾、大山柏
 - 清水利太郎、三好学、深井貞亮、加藤保男、若田光一

第2章 さいたま市の文化財の概要と特徴

1 概要

- ・旧市の文化財をすべて引き継いだ→526件
- ・合併後、県指定、市指定、国登録増加→14件
- ・令和4年1月1日現在、国指定10件、県指定76件、市指定441件 登録有形文化財15件
- ・多様な種別を指定しているが、名勝の指定、国の伝統的建造物群、文化的景観の選定はない。
- ・埋蔵文化財包蔵地は市域全体で1,144カ所
- ・国指定10件のうち、4件は県所有（県立博物館等）。さいたま市に関する文化財は、工芸品1、史跡2、天然記念物2、無形民俗1。内訳は、工芸品は岩槻城主に関する刀1件、史跡は、貝塚、水運に関するもの各1件。無形民俗文化財は、子ども相撲土俵入りで、笹久保と釣上にもみ残る。
- ・県指定76件のうち、28件は県所有。うち、5件はさいたま市に関連する。市に関連する53件の内訳は、建造物5件、絵画4件、彫刻6件、工芸品6件、典籍1件、古文書7件、考古資料4件、歴史資料1件、無形文化財1件、有形民俗文化財4件、史跡7件、天然記念物4件、旧跡3件。

さいたま市内指定・登録文化財件数

国県市指定文化財件数内訳

令和4年3月31日現在

		国		県指定	市指定	合計	
		指定・選定	登録				
有形文化財	建造物		15	5	38	58	
	美術工芸品	絵画			9	10	19
		彫刻			6	48	54
		工芸品	3		12	30	45
		書跡・典籍			1	10	11
		古文書			13	56	69
		考古資料			4	46	50
		歴史資料	1		3	49	53
無形文化財			1	1	2		
民俗文化財	有形民俗文化財	1		8	35	44	
	無形民俗文化財	1			16	17	
記念物	遺跡	2		7	34	43	
	名勝地					0	
	動物、植物、地質鉱物	2		4	68	74	
旧跡			3		3		
文化的景観					0		
伝統的建造物群					0		
		10	15	76	441	542	
文化財の保存技術		1				1	

2 指定文化財

(1) 建造物

- 神社建築 「流造」と見沼周辺の「見世棚造り」
氷川神社旧本殿の移築
- 寺院建築 三間仏堂、山門
- 岩槻城関連 城門、遷喬館
- 民家・商家 長屋門、三間取り広間型、田の字型、土蔵造、せがい造

(2) 絵画

- 仏画（頂相、曼荼羅、地獄絵）
- 行幸絵巻、三十六歌仙絵、横山大観、小茂田青樹

(3) 彫刻

- 仏像（平安、鎌倉、室町、江戸、円空）
- 神像
- 欄間

(4) 工芸品

- 螺鈿、蒔絵、神輿、太刀、鎌倉彫笈、瓶子、釣燈籠、仏教法具等、古社宝類、銅鏡、霰釜、籃胎衝立、神酒杵、三味線、鍔絵

(5) 書跡

- 僧侶筆、公卿筆、武家筆、俳人筆

(6) 典籍

- 大般若波羅蜜多經、高野家書籍

(7) 古文書

- 中世文書 5 件（金子家文書、辺見家文書、沼影観音堂、井原家古文書、太田氏房印判状）

- 寺社文書 18 件（法華寺文書、浄国寺日鑑、玉蔵院文書、清河寺文書、観智国師、伊達政宗書状、慈眼寺文書、慈恩寺文書、慈眼寺朱印状、林光寺朱印状、円乘院朱印状、妙行寺朱印状、酒井忠世、玉蔵院寄進状、単才見聞録、大泉院寄進状、北条家印判状、調神社縁起）

- 氷川神社関係文書 5 件（岩井家、氷川神社、東角井家、西角井家、井上家）

- 氷川女體神社関係者 4 件（北条氏綱制札・北条氏印判状、旧神主家、氷川女體寄進状、氷川女體神社諸事控）

- 地方文書 26 件

- 文化人関係 3 件（児玉南柯、鈴木莊丹、稲垣田龍、小谷三志）

(8) 考古資料

- 旧石器 3 件（北宿西、中川、大和田）

- 縄文 8 件（亀形土製品 1 件、人面画土器・土偶装飾土器 1 件、稲荷原 1 件、大谷場貝塚 1 件、松木 1 件、大谷場 1 件、馬場小室山 2 件）

弥生 9 件（北宿、別所、下大久保、大谷場小池下、井沼方、三崎台、土屋下、
上太寺、諏訪坂各 1 件）

古墳 9 件（白鍬出土須恵器 1 件、別所 2 件、大間木宮前、伝白幡、白鍬宮腰、
つかのこし、伝東宮下、側ヶ谷戸各 1 件）

奈良から平安 1 件（道場寺院跡）

平安 2 件（灰釉蔵骨器、氷川神社東）

室町 1 件（大久保領家 1 件）

江戸 1 件（駒場／石函 1 件）

石造物（五輪塔 2 件、地蔵 1 件）

板石塔婆 13 件（種子 7 件、図像 3 件、塔婆群 3 件）

(9) 歴史資料

絵図 4 件（浦和宿、岩槻城并侍屋敷城下町、与野町、玉林院各 1 件）

算額 4 件

高札 4 件

石造物 7 件（守護侍不入 1 件、宝篋印塔 1 件、地蔵立像 2 件、徳本上人 1 件、
足立百不動 1 件、墓碑 1 件）

板石塔婆 18 件（種子 13 件、図像 5 件）

宮殿 1 件、鷲山関係 2 件、通船器材 1 件、算木 1 件、児玉南柯関係 2 件、
龍門寺資料 1 件、藤橋 1 件、坂東家文書 1 件、普賢行者 1 件、有泉木牌 1 件、筆
の跡 1 件

(10) 無形文化財

岩槻木目込人形、木遣歌

(11) 有形民俗文化財

神楽師関係 3 件、赤山渋 1 件

庚申塔 14 件（寛文 8 件、延宝 2 件、享保 1 件、寛保 2 件、天明 1 件）

石造物 4 件（地蔵 1 件、お聖様 1 件、力石 1 件、無食 1 件）

算額 1 件

絵馬 7 件（縁起 1 件、講の風景 2 件、寺子屋 1 件、境内図 1 件、
奉納の様子 1 件、作者 1 件）

獅子舞用具 2 件、大山奉納太刀 2 件、太子講 1 件、五百羅漢 1 件、
仲町師子王祭 1 件、百観音 1 件、土俵入り天幕 1 件

(12) 無形民俗文化財

獅子舞 4 件、囃子 4 件、餅つき踊り 2 件、万灯 1 件、万作踊り 1 件、
作業（農作業 1 件、通船 1 件）に伴うもの 2 件、
行事に関するもの 2 件（名越祓 1 件、火渡り 1 件）

(13) 史跡

貝塚 2 件、通船堀 1 件、馬場小室山 1 件、大宮公園内遺跡 1 件、古墳 9 件、大
門宿 1 件、浦和宿 3 件、墓 12 件（藩主 4 件、旗本 4 件、文化人 4 件）、岩槻城

1 件、遷喬館 1 件、大構 1 件、大成館 1 件、羽根倉河岸 1 件、一里塚 2 件、六部堂 1 件、内谷氷川境内 1 件、氷川女体祭祀場跡 1 件、富士塚 1 件、筆塚 1 件、碑 1 件

(14) 天然記念物

寺院所有 33 件、神社所有 13 件、個人所有 20 件、公共施設所有 7 件

内訳：クマガイソウ 2 件、イカリソウ 1 件、ヨシ 1 件、社叢等 5 件（女體神社、睦神社、大久保神社、調神社、氷川参道）、ケヤキ 6 件、イチョウ 4 件、シダレザクラ 3 件、カヤ 5 件、シイ 4 件、シイ 4 件、ヒイラギ 3 件、イヌマキ 3 件、ムクノキ 3 件、五葉松 2 件、モッコク 3 件、ボダイジュ 2 件、ムクロジ 2 件、クスノキ 2 件、タブノキ 2 件、タラヨウ 2 件
フジ、ユーカリ、センダンバノボダイジュ、センダン、キャラ、アベマキ、ウメ、ヒヨクヒバ、カキノキ、シラカシ、アカガシ、カシワ、サルスベリ、ツバキ、ユリノキ、ウスギモクセイ、ドウダンツツジ、モミ各 1 件

(15) 旧跡（県指定のみ）

県性院、渋江鑄金、寿能城

3 選定技術

漆刷毛製作

4 登録有形文化財

造形の規範となっているもの 5 件（岩槻資料館 2、民家園 1、細淵家 2）

国土の歴史的景観に寄与しているもの 10 件（内木家 2、加藤家 1、大正館 1、二木屋 2、長谷川家 2、青山家 2）

【調査・整理が必要な未指定の文化財】ーリスト化するもの

- 1 農林水産省登録
世界かんがい施設遺産 見沼代用水（北区・見沼区・浦和区・緑区）
- 2 社団法人土木学会認定
土木遺産 千貫樋（桜区）
- 3 博物館等収蔵資料
北沢楽天関係資料、大西民子関係資料、鴻沼地域の民具
- 4 札所
坂東三十三観音霊場（十二番札所 慈恩寺）
足立百不動（さいたま、川口、蕨、戸田、浮間）
足立坂東観音霊場・定生寺（さいたま、川口、蕨、戸田、浮間）
足立坂東観音霊場・知足院（さいたま、桶川、上尾、伊奈、北本、鴻巣）
北足立八十八ヶ所観音霊場（さいたま、蕨、戸田、川口、和光 朝霞）
新秩父三十四カ所観音霊場（さいたま市）
足立新秩父三十四所観音霊場（上尾、桶川、伊奈、さいたま）
新秩父三十四カ所観音霊場（杉戸、幸手、春日部、松伏、越谷、さいたま、越谷）
- 5 調査記録の整理
神社建築、寺院建築、近代和風建築、長屋門、古文書、涅槃図、古文書、板石塔婆、石造物（中世・近世、石工銘）、お囃子、塚、伝説、鉄道
祭礼行事（年中行事含む-初山、灌仏会、地藏盆、念仏講、ふせぎ、火渡り、こども相撲）
保存樹木（さいたま市公園緑地協会）
景観（岩槻八景、与野八景、大宮八景、日向十景、さいたま 100 景）
- 6 各区の取組
各区お散歩マップ、西区文化財ガイド、大宮 20 景、浦和区文化の小径マップ、緑区お宝 100 選ガイドブック、岩槻区ガイドブック
- 7 未確認の文化財
市が実施した各種アンケート結果の収集・分析
市民アンケート、ワークショップによる発見
博物館等の収蔵品